

## 6-① 第1回

(1) 大かっこ { } の中のかっこ ( ) からです。

最初のかっかも先に計算してかまいません。

$$\begin{aligned} & \underline{(23+17)} \div \{ \underline{(9-5)} \times 2 \} \\ & = 40 \div \{ \underline{4} \times 2 \} \\ & = 40 \div 8 \\ & = \boxed{5} \end{aligned}$$

{ } 中の ( ) 中の計算が  
終わるので、{ } は ( ) になります。

(2) ( ) 中のわり算からです。

ここで大切な注意点があります。

必ず  $=5.5-(3.6-$  まで書かせてから

$28 \div 2$  を考えさせるようにして下さい。

こういうのは、実際に個別指導塾での長年の指導実績から導き出された指導のコツです。

徹底してみればその大切さがわかります。

$$\begin{aligned} 5.5 - (3.6 - \underline{2.8 \div 2}) &= 5.5 - \underline{(3.6 - 1.4)} \\ &= 5.5 - 2.2 \\ &= \boxed{3.3} \end{aligned}$$

(3) 「分数は分子÷分母」

$28 \div 25$  を計算すれば小数になります。

$$\frac{28}{25} = 28 \div 25 = \boxed{1.12}$$

$$\begin{array}{r} 1.12 \\ 25 \overline{) 28} \\ \underline{25} \\ 30 \\ \underline{25} \\ 50 \\ \underline{50} \\ 0 \end{array}$$

(4)  $3.5 - \underline{0.5 \times 3}$

$$= 3.5 - 1.5$$

$$= \boxed{2}$$

(5) かけ算  $0.435 \times 4$  からですが、1行目で最初の  $13.26 - 5.8$  も計算してかまいません。

どちらも別の場所で筆算してかまいませんが、

$13.26 - 5.8$  にはうまい暗算の方法があります。

5.8 はだいたい 6 です。(あと 0.2 で 6)

13.26 からまず 6 をひいて 7.26。

それだと 0.2 ひきすぎなので 0.2 をたして **7.46**

これでいいです。

$$\underline{13.26} - 5.8 + \underline{0.435 \times 4}$$

$$= 7.46 + 1.74$$

筆算しましょう

$$= \boxed{9.2}$$

$$\begin{array}{r} 7.46 \\ + 1.74 \\ \hline 9.20 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 0.435 \\ \times 4 \\ \hline 1.740 \end{array}$$

## 6-① 第2回

$$(1) 0.1 = \frac{1}{10}, \quad 0.01 = \frac{1}{100} \text{ なので}$$

小数第 2 位まである小数は

$$\frac{\text{(小数点をとった数)}}{100}$$

の形の分数にできます。

この問題でも  $1.32 = \frac{132}{100}$  と変形でき、約分して答えです。

$$1.32 = \frac{132}{100} = \frac{33}{25}$$

この問題ではそれほどかわりませんが、整数部分の 1 はそのままっておき帯分数で直した方が簡単です。

1.32 は 1 と 0.32 からできているので……

$$1.32 = 1\frac{32}{100} = \boxed{1\frac{8}{25}}$$

(2) 「+」だけでつながれているので、どこからたしてもよいです。計算を簡単にするため、通分しやすい組に分けてみましょう。

21 と 14 はどちらも 7 の倍数なので、この 2 つはこの 2 つで通分するとよさそうです。

最小公倍数は、大きい方の数 (21) の倍数から考えていき、

$$21 \times 2 = \boxed{42}$$

これは 14 でわりきれるので ( $42 \div 14 = 3$ )、最小公倍数は 42、  
これで通分します。

残りの 3、18、9 は 18 で通分できます。

$$\frac{2}{3} + \frac{10}{21} + \frac{5}{18} + \frac{5}{14} + \frac{2}{9}$$

$$= \frac{2}{3} + \frac{5}{18} + \frac{2}{9} + \frac{10}{21} + \frac{5}{14}$$

← 並び換えただけです。  
この行はなくてもかまいません。

$$= \frac{12}{18} + \frac{5}{18} + \frac{4}{18} + \frac{20}{42} + \frac{15}{42}$$

$$= \frac{21^7}{18_6} + \frac{35^5}{42_6}$$

← どちらも「その場でその中で約分」  
分母がそろってラッキーでした

$$= \frac{12}{6} = \boxed{2}$$

$$(3) (\underline{7 \times 18} - \underline{135 \div 9}) \div 37$$

$$= (126 - 15) \div 37$$

$$= 111 \div 37 = \boxed{3}$$

(4) 暗算に挑戦しましょう。

25 メートルプールを 2 往復 (4 本) で 100 m ですよ。

$$25 \times 4 = 100, 100 \div 4 = 25$$

これらを自在に使えるようになりましょう。

12 は  $4 \times 3$  に分けられます。

25 に先に 4 だけかけて  $\boxed{100}$   
それに 3 をかけて  $\boxed{300}$  です。

式にすると……

$$25 \times 12 = 25 \times 4 \times 3$$

$$= 100 \times 3 = \boxed{300}$$

(5) 自分に厳しく、単位の換算もその場で自分で考えられるよう  
になりましょう。

まだ小学生なので、できる範囲でいいです。  
6 年最後の内容なので、予習になるかもしれません。